

【12月編】「JA綱領—わたしたちJAのめざすもの—」とは？

【JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。】

わたしたちJAの組合員・役職員は、JAが行うさまざまな事業を通じて提供する商品とサービスについて、組合員を中心に考えて行動しています。しかし、JAが地域社会の一員として開かれた組織であるためには、地域内の多くの利用者に対しても、納得される価格と方法によって、わたしたちの商品とサービスを提供することが必要です。

こうしたことから、わたしたちは、JAの事業・活動に積極的に参加・集結するとともに、他の組合との連帯やJAグループとしての結束を強め、協同の成果を実現することを通じ、地域のなかで信頼され、多くの利用者と安定した関係を保つよう努めます。

●（参加と連帯：効率的な事業運営）

協同組合は、組合員の事業・活動への参加・集結と組合員の協同活動によって、利用者のニーズに応えた効率的な事業運営ができます。また、単位組合は連合会を組織し、連帯することによって市場に対応することができます。

わたしたちは、地域はもとより全国の他のJAと連携し、JAグループとしての一体的な取り組みを一層強化します。さらに、生協等他の協同組合の仲間との連携にも力を注ぐとともに、広く世界各国の協同組合との交流や事業面での連携に努め、国際協同組合運動の発展に寄与し、協同の成果の実現をめざします。

●（協同の成果：適正な価格）

わたしたちは、商品とサービスを適正な価格で、迅速かつ的確に利用者へ提供することをめざし、つねにコストの低減に努めます。

このため、JAへの参加・集結と協同組合の強化をはかり、商品とサービスの価格や取引方法を適正なものとし、また、営農センターや物流拠点、支所（店）・事業所等を整備し、利用者の期待にこたえる効率的なしくみづくりをすすめます。

これらのことにより、組合員農家の営農・生活活動やJAの取引先の事業活動を円滑にし、それぞれが適正な利益をあげる機会を実現するよう努めます。

●（協同の成果：質の高い商品とサービス）

わたしたちは、わたしたちの扱う商品とサービスが、組合員組織等との意思疎通や渉外体制の強化を通じて、利用者のニーズをできるだけ取り込んだものとなるよう努めます。

また、時代の流れをつねに把握し、商品やサービスがより便利に、より親しみのあるものとなるよう改善するとともに、わかりやすい紹介、ていねいなアフターケアに努めます。

こうした取り組みによって、わたしたちのJAがいくつかの事業分野において、地域内でナンバー・ワンの地位を確立するよう努めます。

さらに、価格やサービスの面で、他の企業を上回るよう努めるとともに、地域に根ざした協同組合としてのアイデンティティを確立するため、人的なつながりにもとづくプラス・ワンのサービスを大切にします。